



浜松市デジタル・スマートシティ 官民連携プラットフォーム 第5回運営委員会



令和4年3月23日



次 第

- 1 開会
- 2 パートナー会員紹介
- 3 「デジタル田園都市国家構想とWell-being 指標について」
(講演) 浜松市フェロー 南雲 岳彦 氏
- 4 「データ連携基盤とMake our Cityプロジェクトについて」
(講演) 浜松市フェロー 関 治之 氏
- 5 スーパーシティ型国家戦略特区等について
- 6 浜松市デジタルを活用したまちづくり推進条例 (案)
- 7 取組状況、各種動向
- 8 閉会

1. 会議参加時

- 基本的に「ビデオはON」、「音声はOFF（ミュート）」

2. ご発言時

- オンラインでの参加者
「音声をミュート解除」し、最初にお名前をお伝えいただいたのちにご発言ください。
- 現地参加者
テーブルのハンドマイクにてご発言ください。

2 パートナー会員紹介

楽天モバイル株式会社

Rakuten Mobile

本拠所在地	東京都世田谷区玉川一丁目14番1号クリームゾンハウス
URL	https://corp.mobile.rakuten.co.jp/
代表者	矢澤俊介
設立年月	2018年1月
業種	通信・ネットワーキング
事業概要	<ul style="list-style-type: none">✓ 楽天モバイル：携帯電話サービス、端末機器の開発・販売、楽天モバイルショップの展開✓ 楽天ひかり：光回線インターネットサービスの提供✓ 楽天シニア：健康寿命の延伸をサポートするサービスの提供
関心のある分野	エネルギー/モビリティ/ 防災・安全/ 健康・医療・福祉/ 農林業/教育・子育て/ 観光・商業/ 産業/デジタル・ガバメント
協力内容	<ul style="list-style-type: none">・【PF】本プラットフォームのデータ連携基盤を活用した実証実験のプロジェクトに対して、ネットワーク回線を提供する（上限有）。・【会員】会員様の提案内容に合わせて、楽天グループの様々なサービスを活用した新たな地域活性様式を提案・提供する。

3 「デジタル田園都市国家構想とWell-being 指標について」



(講演) 浜松市フェロー 南雲 岳彦 氏

4 データ連携基盤とMake our City プロジェクトについて



(講演) 浜松市フェロー 関 治之 氏

5 スーパーシティ型国家戦略特区等について

令和4年3月10日開催の国家戦略特別区域諮問会議において、区域指定がありました。

1 区域指定

◆スーパーシティ型国家戦略特別区域 **つくば市、大阪（府・市）**

◆革新的事業連携型国家戦略特別区域
デジタル田園健康特区（仮称） **吉備中央町・茅野市・加賀市**

2 会議終了後の野田地方創生担当大臣の発言要旨

- ・本日の諮問会議では、スーパーシティとして、つくば市及び大阪市の指定が決定されました。スーパーシティは、地域のデジタル化と規制改革を行うことにより、DXを進め幅広い分野で未来社会の先行的な実現を目指すものです。
- ・また、デジタル田園健康特区（仮称）として、吉備中央町、茅野市及び加賀市の指定が決定されました。この特区は、デジタル技術の活用によって、人口減少、少子高齢化など、特に地方部で問題になっている課題に焦点を当て、地域の課題解決の先駆的モデルを目指すものです。

6 浜松市デジタルを活用したまちづくり推進条例（案）

概要

制定の目的

- ① デジタル社会形成基本法の趣旨に基づき、デジタルを活用したまちづくりに関する本市施策の策定、実施について規定する。
- ② デジタルファースト宣言以降の本市取組の経緯を踏まえ、デジタルを活用したまちづくりに関する基本原則を改めて規定する。
- ③ 2020年12月総務省が策定した「自治体DX推進計画」を踏まえ、行政手続きのオンライン化、キャッシュレス決済等デジタル・ガバメントの推進計画の策定根拠を規定する。

スケジュール

- 条例案の公表、パブリック・コメント実施 令和4年3月15日～令和4年4月14日
- パブリック・コメントに対する市の考え方公表 令和4年5月（予定）
- 条例の提案 令和4年市議会 5月定例会（予定）
- 条例の施行 令和4年7月1日（予定）

浜松市デジタルを活用したまちづくり推進条例（案）

（目的）

第1条 この条例は、デジタルを活用したまちづくりが市民の利便性の向上に資するとともに人口減少及び少子高齢化をはじめとする社会課題に対応する上で極めて重要であるとの認識の下、デジタル社会形成基本法（令和3年法律第35号。以下「法」という。）の趣旨に基づき、デジタルを活用したまちづくりの推進に関する基本原則及び基本的な事項を定め、市の責務及び市民等の役割を明らかにすることによって、市民生活の質の向上及び都市の最適化（効果的かつ効率的な都市の計画、整備並びに管理及び運営をいう。）を図り、もってすべての市民が安全及び安心で幸せに暮らし続けることができる持続可能な都市を築くことを目的とする。

（定義）

第2条 この条例において、次の各号に掲げる用語の意義は、当該各号に定めるところによる。

- (1) デジタルを活用したまちづくり 情報通信技術を用いた情報の活用によるまちづくりをいう。
- (2) 情報通信技術を用いた情報の活用 法第2条に規定する情報通信技術を用いた情報の活用をいう。
- (3) 市民等 市内に居住し、若しくは滞在し、又は市内を通過する者及び事業者をいう。

（基本原則）

第3条 デジタルを活用したまちづくりは、次に掲げる基本原則にのっとり推進されなければならない。

- (1) 多様な主体の参画及び多様な情報システムの連携が可能な環境づくりを行うこと。
- (2) 情報通信技術を用いた情報の活用は、あらゆる人の社会活動及び都市運営を支える手段の一つであるとの認識の下、すべての人の社会参加を支え、多様かつ包摂的な社会の実現に寄与すること。
- (3) 情報通信技術を用いた情報の活用において、個人情報保護され、及び個人のプライバシーの保護に配慮されるとともに、情報の収集及び活用の主体、目的及び内容に関する透明性が確保されること。
- (4) 情報通信技術を用いた情報の活用に係る事業は、運用上及び財政上の持続可能性が重要であるという認識をすること。
- (5) 災害の発生、感染症のまん延その他の市民の生命、身体若しくは財産に重大な被害が生じ、又は生じるおそれがある事態に対し、都市機能の維持並びに迅速な復旧に係る情報システム及び体制の構築に努めること。

浜松市デジタルを活用したまちづくり推進条例（案）

（市の責務）

第4条 市は、前条に定める基本原則にのっとり、市民等と連携し、及び協力しながら、デジタルを活用したまちづくりに関する施策を総合的に策定し、及び実施する責務を有する。

（市民等の役割）

第5条 市民等は、自らがまちづくりの主体であるとの認識の下、デジタルを活用したまちづくりへの理解を深め、市と連携し、及び協力しながら、自己の能力を発揮し、デジタルを活用したまちづくりの推進に努めるものとする。

（基本指針等の策定等）

第6条 市長は、第4条に規定する施策を総合的かつ計画的に実施するための基本指針を策定しなければならない。

2 市長は、前項の基本指針に基づく計画を策定しなければならない。

3 市長は、第1項の基本指針及び前項の計画を策定し、又は変更したときは、速やかに、これを公表しなければならない。

浜松市デジタルを活用したまちづくり推進条例（案）

（推進体制）

第7条 市長は、デジタルを活用したまちづくりに関する施策について総合調整を行うとともに、これを実効性のあるものとするための推進体制を整備しなければならない。

（委任）

第8条 この条例に定めるもののほか、この条例の施行について必要な事項は、市長が定める。

附 則

この条例は、令和4年7月1日から施行する。

7 取組状況、各種動向

(1) “デジタル・スマートシティ浜松”ウェビナーシリーズ

分野間連携を促進するため、各分野の取組を紹介する「ウェビナー」を、月に1回程度開催。

<スケジュールと紹介分野>



主催：浜松市、官民連携PF 対象：どなたでも視聴可能（無料）

第7回 ～教育・子育て分野の取組と今後の展望～

令和4年1月19日(水) 16:00-17:30
参加申込者：71名

開会 概要説明

浜松市デジタル・スマートシティ
推進事業本部

インプット①

浜松市学校教育部
部長 田中 孝太郎

インプット②

浜松市こども家庭部
部長 鈴木 知子

インプット③

はままつ子育てネットワークびっぴ
原田 博子氏

座談会/ 質疑応答

- ▼登壇者
原田 博子氏
田中 孝太郎
鈴木 知子
- ▼ファシリテーター
(株) HEART CATCH
西村真里子氏

The screenshot displays the 'HDSC MONTH' website. On the left is a navigation menu with 'ホーム' and a list of webinar topics from the 1st to 8th sessions, including 'デジタル・スマートシティ推進事業本部' and 'はままつ子育てネットワークびっぴ'. The main content area features a 'アーカイブ動画' (Archive Video) section with a video player for the 7th webinar, titled '“デジタル・スマートシティ浜松”ウェビナーシリーズ 第7回 ～教育・子育て分野の取組と今後の展望～'. Below this is a 'ウェビナー資料' (Webinar Materials) section with three document thumbnails: '教育分野の現状とデジタル活用への期待', '子育て分野の取組', and '子育て世代向け情報発信におけるびっぴの取り組み'. Each document lists the presenter's name and affiliation.

浜松デジタル・スマートシティMONTHのHPにて、
当日の動画と資料を公開しています。

<https://www.month.hdsc.city/webinar/2021-7>

第8回 ～産業分野の取組と今後の展望～

令和4年2月10日(木) 15:00-16:30

参加申込者：82名

開会 概要説明

浜松市デジタル・スマートシティ
推進事業本部

インプット①

浜松市スタートアップ戦略推進協議会
吹野 豪 氏

インプット②

デジタルワークシフトコンソーシアム浜松
沢渡 あまね 氏

インプット③

株式会社サカエ
川島 健 氏

座談会/ 質疑応答

- ▼登壇者
吹野 豪 氏
沢渡 あまね 氏
川島 健 氏
浜松市産業部 岩崎 英浩
- ▼ファシリテーター
(株) HEART CATCH
西村真里子氏

アーカイブ動画

ウェビナー資料

“デジタル・スマートシティ浜松”ウェビナーシリーズ 第8回
～産業分野の取組と今後の展望～

令和4年2月10日

浜松市

ウェビナー趣旨説明

産業分野のデジタル化とその課題

浜松デジタル・スマートシティMONTHのHPにて、
当日の動画と資料を公開しています。

<https://www.month.hdsc.city/webinar/2021-8>

第9回 ～福祉分野の取組と今後の展望～

令和4年3月17日(木) 10:30-12:00

参加申込者：45名

開会 概要説明

浜松市デジタル・スマートシティ
推進事業本部

インプット①

浜松NPOネットワークセンター
島田 江津子 氏

インプット②

特定非営利活動法人六星
斯波 千秋 氏

インプット③

社会福祉法人聖隷福祉事業団
野村 則国 氏

座談会/ 質疑応答

- ▼登壇者
島田 江津子 氏
斯波 千秋 氏
野村 則国 氏
- ▼ファシリテーター
(株) HEART CATCH
西村真里子氏

The image shows a screenshot of the HDSC MONTH website and associated webinar materials. The website lists the webinar series and provides a link to the YouTube video. The webinar materials include a slide titled "ウェビナー趣旨説明" (Webinar Purpose Explanation) and a slide titled "観光地域づくりにおけるデジタル戦略" (Digital Strategy in Tourism Area Development). The website also features a "ウェビナー資料" (Webinar Materials) section with a link to the materials.

浜松デジタル・スマートシティMONTHのHPにて、
当日の動画と資料を公開しています。

<https://www.month.hdsc.city/webinar/2021-9>

(2) “デジタル・スマートシティ浜松”オンラインセミナー

第2回 “デジタル・スマートシティ浜松”オンラインセミナー

- デジタル・スマートシティに関する知見を深めるための「オンラインセミナー」を、年度内に2回程度開催。
- 第2回は、白坂氏の浜松市フェロー就任を記念し、セミナーを開催した。

令和4年2月22日(火) 15:00-16:15
参加申込者：85名

テーマ：
アーキテクチャから見た日本のスマートシティ
とデジタル・スマートシティ浜松

開会あいさつ 浜松市長 鈴木 康友

講演

浜松市フェロー
慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科 教授
白坂 成功 氏

パネル
ディスカッション

- ▼登壇者
浜松市フェロー 白坂 成功 氏
浜松市フェロー 東 博暢 氏
浜松市フェロー 南雲 岳彦 氏
浜松市長 鈴木 康友
- ▼ファシリテーター
(株) HEART CATCH
西村真里子氏



浜松デジタル・スマートシティMONTHのHPにて、
当日の動画と資料を公開しています。

<https://www.month.hdsc.city/seminar/2021-2>

(3) システム×デザイン思考ワークショップ@浜松

システム×デザイン思考ワークショップ@浜松

- 官民連携プラットフォーム会員の皆様と、「システム×デザイン思考」を体験するワークショップを開催した。

開催概要

日時：令和4年2月23日(水・祝)
13:00-17:00

会場：Zoomによるオンライン開催

参加者：官民連携PF会員等 36名

主催：浜松市
慶應SDMシステムデザインメソ
ドロジーラボ

共催：浜松市デジタル・スマートシティ
官民連携プラットフォーム

協力：静岡大学情報学部
(一社)スマートシティ・インス
ティテュート



プログラム

- 講演：「システム×デザイン思考」とは？**
 講師：慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科 白坂 成功 教授
- ワークショップ：「システム×デザイン思考」を体験しよう！**
 講師：慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科 長谷川 廣明 特任教授

(4) PF会員によるソリューションピッチ

第2回PF会員によるソリューションピッチ

- 今年度の新たな事業として、PFの会員によるサービスやソリューションのピッチイベントを開催。
- 第2回のピッチテーマは「教育・子育て」。

令和4年2月16日(水) 13:30-15:30

登壇団体：PF会員（7団体）

視聴参加者：PF会員及び浜松市各課

**開会挨拶
趣旨説明** 浜松市デジタル・スマートシティ
推進事業本部長 内藤 伸二郎

インプット 浜松市フェロー
東 博暢 氏

ピッチ ピッチ(6分)・質疑応答(3分)
×7団体

講評 浜松市フェロー
東 博暢 氏

閉会挨拶 浜松市デジタル・スマートシティ
推進事業本部長 内藤 伸二郎

交流会 ▼交流会参加者
登壇団体および視聴者

登壇団体（登壇順）	テーマ
ソフトバンク株式会社	AIチャレンジ・魔法のプロ ジェクト
特定非営利活動法人 浜松ものづくり工房	デジタルものづくりができる 浜松の子どもの育成
クロスオーバーテクノロ ジーズ株式会社	コンピュータ科学教育振興拠 点（仮）の構築の提言
株式会社FROGS	日本一イノベーター人財を生 み出す市、浜松市に
株式会社オトモニ	シニアのQoL向上を目指す、 孫オンデマンドサービス
認定NPO法人はままつ子 育てネットワークぴっぴ	子育て情報ポータルサイト 「ぴっぴ」
一般社団法人ここみ	利用者管理システム「子育て 支援のミカタ」

第2回PF会員によるソリューションピッチ

<ソリューションピッチの様子・アーカイブ>



HAMAMATSU
HDSC MONTH

2021年12月4日（金）に、第2回PF会員ソリューションピッチイベントを開催しました。

第2回ソリューションピッチ

各登壇者発表概要書

掲載許可をいただいた各団体のピッチ概要書には下記となります。

<p>ソフトバンク株式会社</p> <p>【AI・IoT活用】 産地のプロダクト</p> <p>04. [ピッチ] 概要書ver.03</p>	<p>特定非営利活動法人浜松ものづくり工房</p> <p>【デジタルもつくりがちな浜松ものづくりの未来】</p> <p>04. [ピッチ] 概要書ver.03</p>
<p>クロスオーバーテクノロジーズ株式会社</p> <p>【IoT・AI活用】 産地のプロダクト</p> <p>04. [ピッチ] 概要書ver.03</p>	<p>株式会社FROGS</p> <p>【IoT・AI活用】 産地のプロダクト</p> <p>04. [ピッチ] 概要書ver.03</p>
<p>株式会社オトモニ</p> <p>【IoT・AI活用】 産地のプロダクト</p> <p>04. [ピッチ] 概要書ver.03</p>	<p>認定NPOの法人はままつ子育てネットワークびびび</p> <p>【子育て支援の未来】</p> <p>04. [ピッチ] 概要書ver.03</p>
<p>一般社団法人ここみ</p> <p>【IoT・AI活用】 産地のプロダクト</p> <p>04. [ピッチ] 概要書ver.03</p>	

浜松デジタル・スマートシティMONTHのHPにて、掲載許可をいただいた登壇団体のピッチ概要書を公開しています。
<https://www.month.hdsc.city/pitch/2021-2>

(5) Hamamatsu ORI-Project

- 今年度は13件の提案プロジェクトのうち、次の7件を採択し、支援に取り組みました。

応募プロジェクト一覧（※テーマ別50音順）

テーマ	法人名・団体名	代表者氏名	所在地 (都道府県)	所在地	実証実験プロジェクト名称
スマート 農林業	株式会社フジヤマ	藤山 義修	静岡県	浜松市	3D点群データを利用した林道の利活用・維持管理・防災 点検運用支援
スマート 農林業	Yui support株式会社	玉置 麻菜美	静岡県	浜松市	キッチンカーを活用した市民参加型6次化実証プロジェクト
市民目線の 暮らしやすさ	国立大学法人静岡大学	日詰 一幸	静岡県	静岡市	新型コロナウイルス感染シミュレーションに向けたD2D社会 実験
市民目線の 暮らしやすさ	ためま株式会社	清水 義弘	広島県	広島市	まちの情報シェアアプリの災害時ボランティアニーズ収集活用
市民目線の 暮らしやすさ	八千代エンジニアリング株式会社	出水 重光	東京都	台東区	海域（浜名湖含む）へ排出されるプラスチック等の人工系 ごみ輸送量の実態把握
市民目線の 暮らしやすさ	(一社) One Smile Foundation	辻 早紀	神奈川県	横浜市	AIによる街の幸福度向上と可視化プロジェクト
その他	どこでもdoerプロジェクト事務局(個人)	岩井 隆浩	神奈川県	藤沢市	どこでもdoerプロジェクト

- 令和4年3月16日（水）、令和3年度 Hamamatsu ORI-Project 成果発表会をオンライン（Zoomウェビナー形式）で開催しました。
- 本成果発表会のアーカイブ動画は、近々にYouTubeに投稿する予定です。

令和3年度 Hamamatsu ORI-Project 成果発表会（オンライン開催）の様子

プロジェクト報告①

1. 団体概要

主体	静岡大学 情報学部 遊橋研究室（2021年度） 浜松医科大学 鈴木 哲朗 教授（2020年度）
協力	丸紅情報システム、Code for Japan、Soft Bank

2. 実証実験の背景、目的

新たな感染症の発生は、現代社会において大きなリスクとなっている。学校や企業の事業所などでは、客観的根拠（エビデンス）に基づいて、“集団的”に高リスクシーンを回避することにより、人々の行動制限を軽度にかえながら活動を継続できる可能性がある。

本プロジェクトでは、D2D社会実験から、場所の利用方法に関係した高リスクシーンを探し当て、企業の事業所や学校などの特定社会集団毎に集団的防疫対策を得ることを目指す。

社会全体の対策 → 特定集団の防疫対策 → 個人レベルの対策

3. 実験の内容、スケジュール

集団の構成員が持つスマートフォンや、場所に置かれたiビーコン等のデバイス間で通信をおこなったログから接触判定と位置計測をおこなう技術を開発し、市役所などで行動をモニタリングする実験をおこなう。

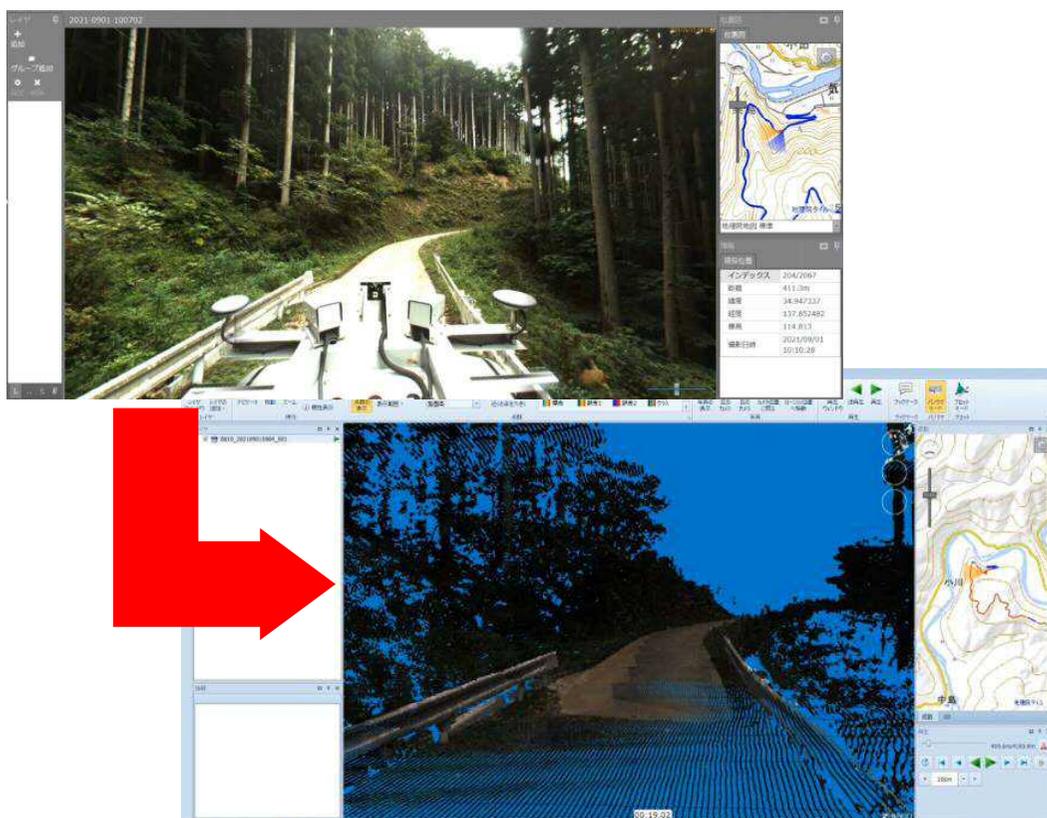
社会実験（事業所、学校など）

スケジュール

スケジュール	8	9	10	11
予定スケジュール	システム準備	準備	準備	準備
実施スケジュール	システム準備	実施	実施	実施

Code for Japan
ともに考え、ともにつくる。

- 林道笹合線の3D点群データの取得・分析を行い、林道付近の危険箇所の抽出を行いました。
- その後、昨年度ORI-Projectに取り組んだ静岡大学の木谷准教授のご協力の下、抽出した危険箇所に振動センサーを設置し、データの収集とモニタリングを実施しました。



3D点群データの計測



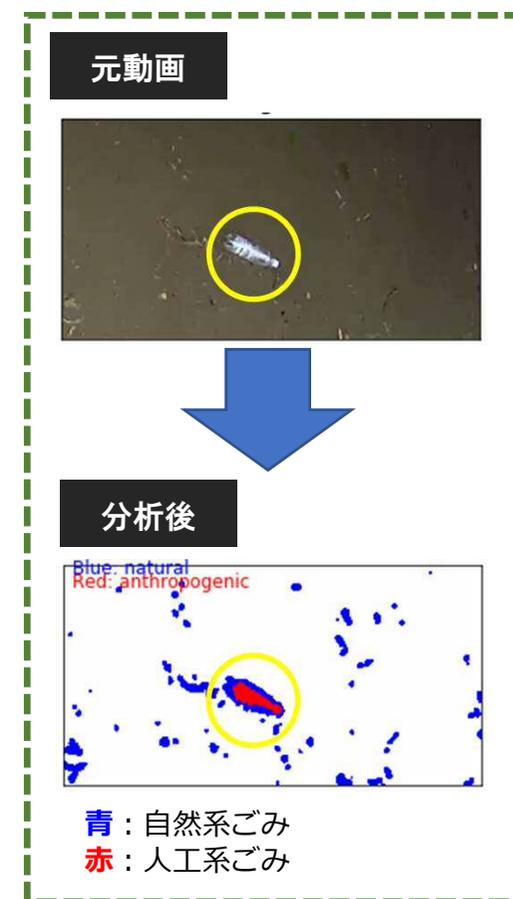
振動センサーを活用したモニタリング

- 市内の河川の水面をビデオカメラで定点撮影し、得られた動画について、RIAD（水表面の動画データを分析し、川から流出する自然・人工系ごみの輸送量を把握する技術）による分析を実施しました。
- 分析の結果、昨年11月19日の降雨で段子川では約22.6kg、鴨江排水路では約3.7kgの人工系ごみの流出が確認されました。

モニタリング地点



定点モニタリングの地点及び期間



RIADによる分析例

個別のプロジェクトの取組紹介 - One Smile Foundation

- 健康経営やウェルネス分野に積極的に取り組む市内企業4社に専用アプリをインストールした端末を設置し、約3か月間にわたって、笑顔の検知とカウントを実施しました。
- カウントした笑顔の回数×1円（約33万円分）が市内の子ども食堂に寄付されます。
- また、設置先企業の社員に対し、意識調査を行い、実証実験前後の幸福度の変化等を分析しました。

協力先の市内企業



ウェルネス浜名湖



笑顔検知の様子



12月15日 SBSの情報番組『ORANGE』で放映

(6) スマホ講座

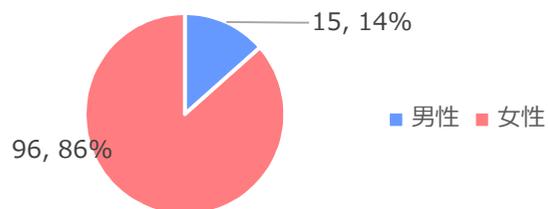
令和3年度 出張デジタル講座（前期）の開催実績

- 5月～8月に14回のスマホ講座を実施し、合計226人の方が参加しました。
- 性別では、参加者の9割が女性。年齢別では、70代以上の参加者が9割以上でした。
- 定員10-20人で募集しましたが、多くの会場で定員に達し、抽選となった会場もありました。

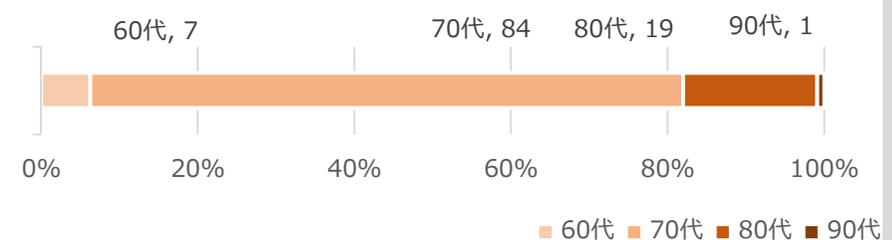
前期開催実績

No.	施設名称	開催日時	担当事業者	参加人数
1	笠井協働センター	令和3年5月11日(火)午前	NTTドコモ	14人
2	篠原協働センター	令和3年5月27日(木)午前	ソフトバンク	14人
3	竜川ふれあいセンター	令和3年6月8日(火)午前	NTTドコモ	16人
4	龍山協働センター（龍山森林文化会館）	令和3年6月8日(火)午後	NTTドコモ	14人
5	中部協働センター（クリエート浜松）	令和3年6月10日(木)午後	ソフトバンク	15人
6	伊佐見協働センター	令和3年6月25日(金)午前	ソフトバンク	19人
7	入野協働センター	令和3年6月25日(金)午後	ソフトバンク	19人
8	富塚協働センター	令和3年7月5日(月)午後	ソフトバンク	24人
9	新津協働センター	令和3年7月27日(火)午前	NTTドコモ	21人
10	雄踏文化センター	令和3年7月27日(火)午後	NTTドコモ	20人
11	上阿多古ふれあいセンター	令和3年7月29日(木)午前	NTTドコモ	12人
12	二俣協働センター	令和3年7月29日(木)午後	NTTドコモ	12人
13	引佐協働センター	令和3年8月6日(金)午前	ソフトバンク	11人
14	三ヶ日協働センター	令和3年8月6日(金)午後	ソフトバンク	15人

参加者性別



参加者年齢



令和3年度 出張デジタル講座（後期）の開催実績

- 令和3年度前期の実績を踏まえ、12月～2月の間にスマホ講座を14回開催しました。
- 後期開催だけで202人、前期からの積算では428人の方が、本講座を受講しました。

後期開催実績

No.	施設名称	開催日時	担当事業者	参加人数
1	下阿多古ふれあいセンター	令和3年12月3日(金)午前	NTTドコモ	12人
2	熊ふれあいセンター	令和3年12月3日(金)午後	NTTドコモ	10人
3	入野協働センター※地域団体向け	令和3年12月22日(水)午前	ソフトバンク	10人
4	伊佐見協働センター	令和3年12月24日(金)午前	ソフトバンク	16人
5	雄踏文化センター	令和3年12月22日(水)、 23日(木)、24日(金)午後	NTTドコモ	15人
6	佐鳴台協働センター	令和4年1月18日(火)午前	ソフトバンク	19人
7	東部協働センター	令和4年1月18日(火)午後	ソフトバンク	17人
8	新津協働センター	令和4年1月21日(金)午前	NTTドコモ	26人
9	東部地区体育館	令和4年1月21日(金)午後	NTTドコモ	15人
10	鹿玉協働センター	令和4年2月3日(木)午前	NTTドコモ	10人
11	引佐協働センター	令和4年2月18日(金)午前	ソフトバンク	11人
12	二俣協働センター	令和4年2月18日(金)午後	ソフトバンク	11人
13	三ヶ日協働センター	令和4年2月22日(火)午前	ソフトバンク	15人
14	五島協働センター	令和4年2月24日(木)午後	NTTドコモ	15人

講座の構成

- ✓ 合計時間は概ね2時間を想定。
- ✓ 各講座の共通コンテンツとして、開会時に「デジタル・スマートシティ推進のご紹介」を、動画を活用して実施する。

5分	開会、デジタル・スマートシティ推進のご紹介(動画)
50分 ～ 110分	はままつ出張デジタル講座 (スマホ講座)
5分	アンケート回収

開催に関する条件

- 講師
ソフトバンク、NTTドコモ
- 費用負担等
講師料無料とし、必要設備はセンターが、スマホは講師が準備する。
- 日時
講師派遣の時間は、以下の2パターンを想定。
①午前10時から正午 ②午後2時から午後4時
- 会場条件
最小催行人数10名、かつ、各参加者同士の間隔を1.5m以上開けることが出来る会場を準備する。アルコール消毒や検温の準備をする。

国施策や市内の様々な団体の取組との連携

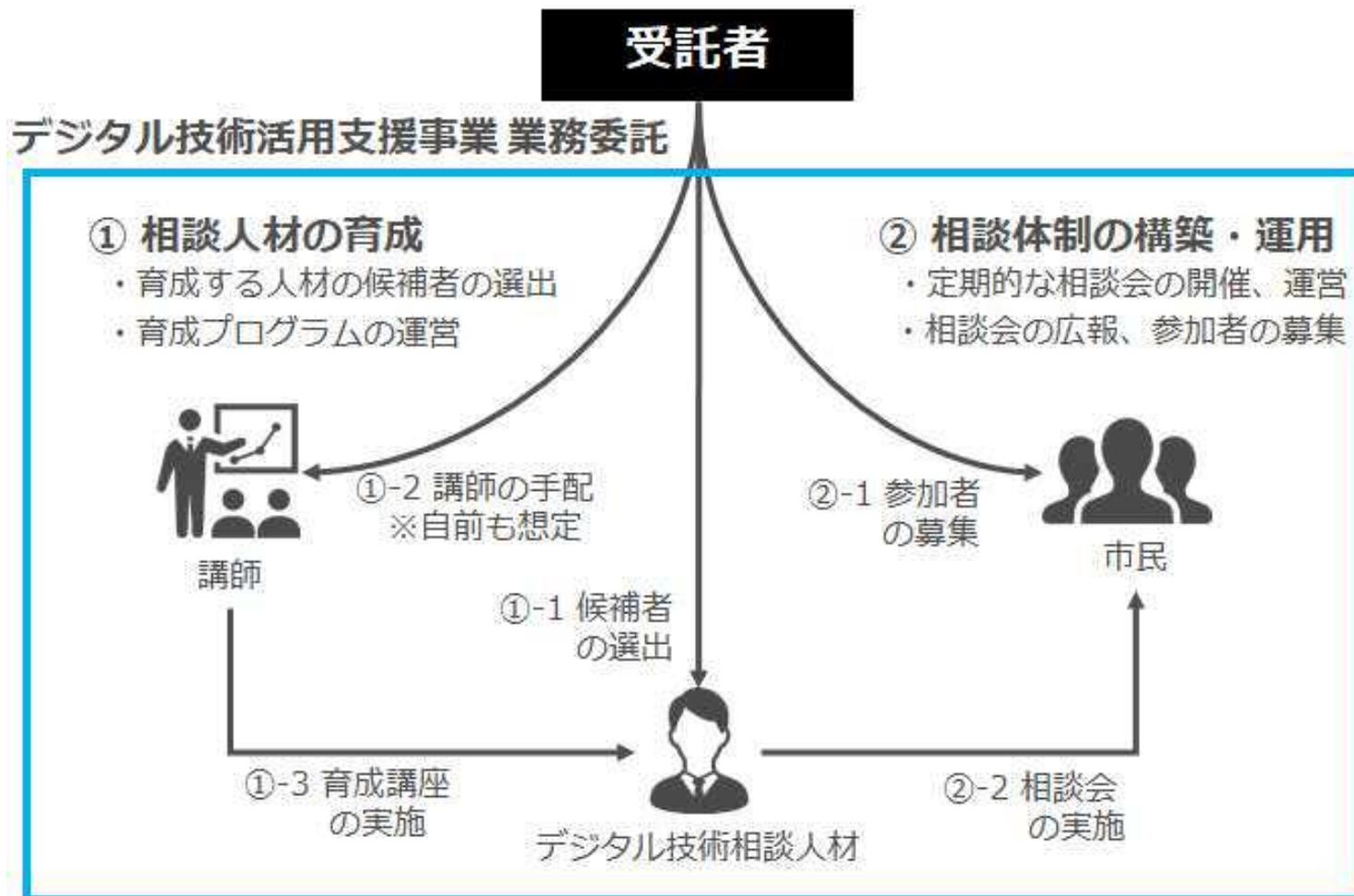
- 市内では、携帯キャリアの店舗、パソコン教室、商工団体や金融機関、シルバー人材センターや社会福祉協議会など、幅広い団体が、スマホやZoomの使い方などのデジタル技術活用講座を開催しています。
- また、総務省は「デジタル活用支援推進事業」により採択団体のスマホ講座の実施費を補助しています。
- 今後、こうした取組の情報を集約し、本市のホームページで発信していきます。

デジタル活用講座の取組情報を集約・発信



令和4年度 浜松市デジタル技術活用支援事業

- 地域に根差して活動する団体に対し、地域におけるデジタル技術相談人材の育成・活用を委託します。
- デジタル庁にて制度設計中の「デジタル推進委員」制度などとも連携を取りつつ、市民の皆様のデジタル技術活用についての不安の解消に資する身近な相談体制の構築を図っていきます。



- 第2回ソリューションピッチで紹介いただいた(株)オトモニの取組
- スマホ等に関するサポートを、学生と連携して行う

◆取組概要

専任のパートナーがスマホの困りごとや要望を伺い、実現に向けてサポートを行う。

◆地元の学生との連携

地域福祉に関心が高い地元の大学生を中心としたスタッフが活動。

便利で楽しい
スマホ生活をお手伝いします



映画や音楽を楽しむ
LINEで家族や友人と連絡
インターネット・地図ですぐに検索



??

- 基本操作から学びたい
- アプリの入れ方がわからない
- LINEの使い方がわからない

専任のパートナーがスマホの困りごとやご要望をお伺いし、実現に向けてお手伝いします。

1:1サポートで安心



個別サポートのため、お一人お一人の課題やご要望に応じてスタッフが対応致します。スマホ教室や参考書が合わなかった方にもおすすめです。

楽しく学べる



地元の大学生がご自宅に訪問し、日常的な会話も交えながら和気あいあいとサポートを進めます。日々の困りごとなどもご相談ください。

株式会社オトモニ



12/31までのお電話に限り、
初回30分無料キャンペーン中

受付時間 10:00~20:00

050-3717-6759

(7) 教育分野の状況報告

令和3年度 学科横断プロジェクトデザイン（浜松未来総合専門学校【一般会員】）

取組概要

- 「デジタルを活用した地域課題解決」をテーマに、課題発見、解決策の検討、検証、発信までを行う問題解決型授業を2022.7から実施。

成果報告会（3/18開催）

- 1年間の集大成として12グループが成果を報告。
- 14ある学科コースを超えて繋がった学生グループが、課題を解決するためのビジネスプランを発表。

【発表テーマ】

- ① 高齢者にやさしく
- ② 環境
- ③ 飲食店の活性化
- ④ コロナ禍での娯楽プロジェクト
- ⑤ 校内コミュニティ
- ⑥ 若者の流出防止対策
- ⑦ 学習環境
- ⑧ ポイ捨てを減らすために
- ⑨ ゴミ問題



事務局からの連絡

次世代を担う人材の育成

概要

官民連携プラットフォーム会員が講師となり、市内学校の授業等で講座を開催する

講師

官民連携プラットフォーム会員

派遣先の対象

市内の小学4～6年生、中学生、高校生

講義内容

- デジタル・スマートシティ浜松について
- 各分野（各団体）の取組紹介
例:スマート農林業、デジタル活用による地域課題の解決



スケジュール

2022年度											
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
講師募集											
	派遣先募集										
		開催									